

# ALSI 情報漏洩対策シリーズの新バージョン 「InterSafe ILP Ver. 5.0」を12月20日より販売開始

## ファイルの自動バックアップ機能によるランサムウェア対策や 標的型攻撃対策、印刷・コピー制御機能を追加

アルプス システム インテグレーション株式会社(本社:東京都大田区、代表取締役社長:永倉 仁哉、以下 ALSI(アルシー))は、情報漏洩対策シリーズ「InterSafe ILP(インターセーフ アイエルピー)」をバージョンアップし、2016年12月20日より販売開始することを発表いたします。

|              |   |
|--------------|---|
| シリーズ名        | 情報漏洩対策シリーズ「InterSafe ILP Ver. 5.0」  |
| バージョンアップ対象製品 | <ul style="list-style-type: none"> <li>ファイル自動暗号化ソフト「InterSafe IRM」</li> <li>デバイス制御ソフト「InterSafe DeviceControl」</li> <li>セキュリティ USB メモリ作成ソフト「InterSafe SecureDevice Ultimate」</li> <li>持ち出し申請・承認ソフト「InterSafe WorkFlow」</li> </ul> |
| 主な機能強化ポイント   | <p>①サイバー攻撃対策</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ファイルの自動バックアップ機能(ランサムウェア対策)</li> <li>FireEye との連携によるマルウェア感染端末の即時隔離(標的型攻撃対策)</li> </ul> <p>②内部犯罪対策</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ファイルの印刷制御およびコピー制御</li> </ul>  |
| 発売開始日        | 2016年12月20日   |
| ターゲット        | 企業、官公庁、自治体、医療機関、学校 など   |
| 詳細情報 URL     | <a href="http://www.alsi.co.jp/security/ilp/">http://www.alsi.co.jp/security/ilp/</a>   |

### ■バージョンアップによる機能強化ポイント

「InterSafe ILP」は、「重要情報の保護」、「外部デバイスへの不正持ち出し防止」、「持ち出し後のファイルの安全な活用」、「送信データの情報漏洩防止」をオールインワンで実現するシリーズ製品群です。この度のバージョンアップでは、ランサムウェアをはじめとするサイバー攻撃や内部犯罪への対策を強化し、より強固な情報漏洩対策を実現いたします。

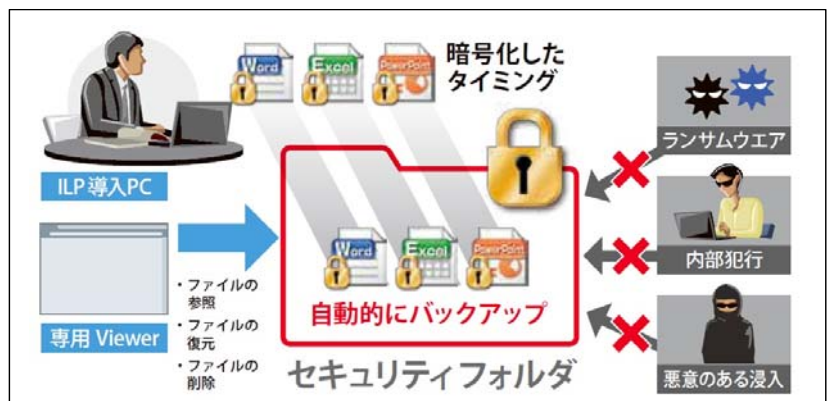
#### ①自動バックアップ機能によるランサムウェア対策

#### InterSafe IRM

近年のサイバー攻撃では、特定の企業や組織を狙った手口だけではなく、多数の標的を対象とした「ばらまき型」によるメール攻撃が主流となっており、業種や規模を問わず、あらゆる企業や組織において対策が必要となっています。特に最近では、「ランサムウェア」と呼ばれる身代金要求型不正プログラムの被害が拡大しております。ランサムウェアに感染した PC は、勝手にファイルが暗号化され使用不能となり、元に戻すことと引き換えに金銭を要求されるなど、巧妙かつ悪質な手口が見られます。

この度のバージョンアップにより、ファイル自動暗号化ソフト「InterSafe IRM」において、ファイル保存時に、セキュリティフォルダの中に自動的にファイルのバックアップを保存できるようになります。

保存されたファイルは専用ツールを利用しないとアクセスできないため、万一ランサムウェアに感染してしまった場合でも、セキュリティフォルダへの侵入を防ぎ、バックアップファイルを確実に感染前の状態に復元することができます。



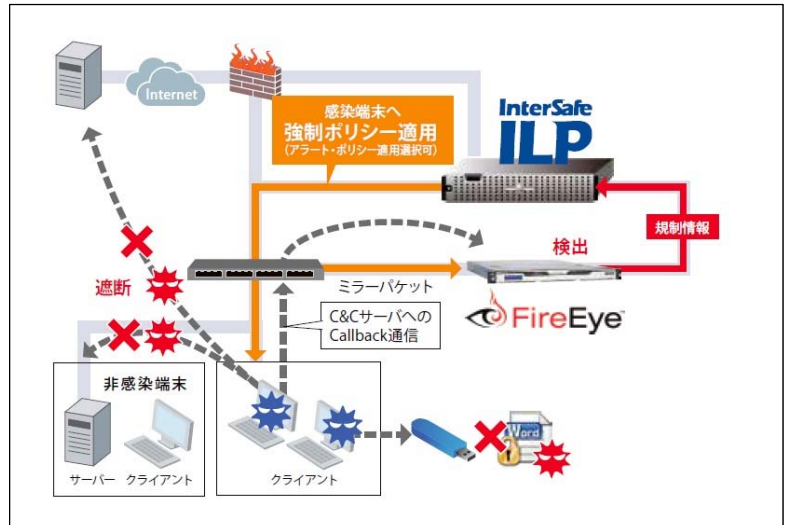
▲自動バックアップによるランサムウェア対策のイメージ

## ② FireEye との連携による標的型攻撃対策

デバイス制御ソフト「InterSafe DeviceControl」とFireEye社の標的型攻撃対策製品「NXシリーズ」の連携機能を搭載しました。本機能では、NXシリーズが検知した未知のマルウェア情報を「InterSafe DeviceControl」にリアルタイムで登録し、感染した端末をネットワークや外部デバイスから即時的に隔離することで、他の端末への感染拡大を防止することができます。

Webフィルタリングソフト「InterSafe WebFilter」におけるFireEye社「NXシリーズ」との連携機能と組み合わせることで、万一マルウェアに感染した場合でも、ネットワーク内の全ての端末からの不正な通信をインターネットの出口でブロックするとともに、非感染端末への攻撃を防ぎ、標的型攻撃へのより強固な即時対応を実現いたします。

## InterSafe DeviceControl



▲FireEye との連携による感染端末の即時隔離のイメージ

## ③ ファイルの印刷およびコピー制御機能

企業や組織における内部犯罪対策として、ユーザー属性ごとにコピーや印刷を制御する機能を追加します。

例えば、ユーザー属性が「役員」の場合は、内容を別ファイルにコピーすることや、印刷することができ、ユーザー属性が「マネージャー」や「一般」の場合は、印刷・コピーを禁止するなど、柔軟な設定をすることができます。

## InterSafe IRM

| ユーザー属性     | 閲覧 | 暗号解除 | コピー | 印刷 | テンプレート変更 | 有効 |
|------------|----|------|-----|----|----------|----|
| 010.役員     | 許可 | 許可   | 許可  | 禁止 | 許可       | なし |
| 020.マネージャー | 許可 | 許可   | 許可  | 禁止 | 許可       | なし |
| 030.一般     | 許可 | 許可   | 許可  | 禁止 | 許可       | なし |

ユーザー属性: 役員

ユーザー属性: マネージャー

ユーザー属性: 一般社員

▲暗号化テンプレートによる印刷制御・コピー制御のイメージ

## 「2分で分かる」動画を公開中

「InterSafe ILP」「InterSafe DeviceControl」「InterSafe IRM」の特長を2分でまとめた動画を公開しています。(YouTubeにも公開中)

<http://www.alsi.co.jp/security/movie.html>



※掲載されている会社名及び商品名は各社の商標または登録商標です。

### 【このリリースに関するお問い合わせ・取材受付先】

アルプス システム インテグレーション株式会社  
〒145-0067 東京都大田区雪谷大塚町 1-7  
広報担当: 桑野 宏子 (kuwano@alsi.co.jp)

URL: <http://www.alsi.co.jp/>  
TEL: (03)5499-8043 FAX: (03)3726-7050